

第55期 BUSINESS REPORT

2024.9.1~2025.8.31

株式会社プラップ ジャパン

証券コード：2449

トップメッセージ

多様な力を結集し、新しい成長ステージへ

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループの事業に対し温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。2025年8月期（2024年9月1日~2025年8月31日）の当社グループは、前期比で売上高・営業利益ともに大きく伸長し、増収増益を達成いたしました。変化の激しい経営環境の中でも、グループ一丸となって事業基盤の強化と新たな価値創造に取り組んだ一年となりました。

▶ 人・テクノロジー・連携で生み出す持続的な成長

当社グループは、「あしたの常識をつくる。」というパーパスのもと、PR発想によるコミュニケーションコンサルティングを軸に、日本・中国・東南アジアの拠点が一体となって事業を展開しています。今期は、人・テクノロジー・連携を成長の柱に据え、人的資本経営の深化、生成AIをはじめとする新技術の研究開発、そして国内外の協業拡大に注力しました。

人的資本経営では、ベースアップやフレックスタイム制の導入をはじめ、給与水準や待遇、柔軟な働き方、個人のスキルアップ支援の水準をさらに引き上げ、社員のエン

ゲージメントを高めることによって企業価値の向上と競争力の強化を同時に実現しています。また、AWS Japanの生成AI実用化推進プログラムへの参画をはじめ、AIによる業務効率化や新サービスの創出を進め、グループ全体の生産性と価値提供力を一段と高めています。

パートナーとの共創面では、国内では、エンタメ・ヘルスケア・IR領域などの企業との業務提携を通じて専門領域の拡充を図り、海外では中国・シンガポール・ベトナムに加え、タイに新拠点を開設。東南アジア地域において、現地企業やパートナーとの連携を通じて事業領域の拡大とネットワーク強化を進めています。

▶ 変化の先を読み、次の飛躍への第一歩

当社グループは、2024年10月に策定した中期経営計画に基づき、2027年8月期までに「売上高100億円・営業利益11億円・ROE8%以上・人員460名」の達成を目指しています。社会や顧客の変化を先取りし、グループ全体の力を最大限に発揮することで、持続的な企業価値の向上を実現していくことを基本方針としています。

本計画では、「広報PR」「マーケティング」「経営支援」の三領域での事業拡大を中心に、AIやデジタル領域への投資、海外拠点の拡充、そして戦略的M&Aの推進を通じて、グループシナジーの最大化を掲げています。

初年度となる今期は、業績が期初予想を上回り、計画に沿って着実に進展しました。この成果を支えてくださった株主の皆様へ、心より感謝申し上げます。安定した成長基盤を確立したことから、2025年8月期は増配を実施します。当社は2005年の上場以来、一度も減配することなく、21期連続で安定配当を継続しています。今後は、累進配当の方針のもと、持続的な成長に合わせて株主の皆様への利益還元をさらに充実させてまいります。

中期経営計画の初年度として、当社グループは確かな一歩を踏み出しました。コミュニケーションで「あしたの常識をつくる。」という原点を胸に、社会の変化を恐れず、変化の先にある可能性を見据えて、さらなる成長と新たな価値の創造へと確かな歩みを重ねてまいります。

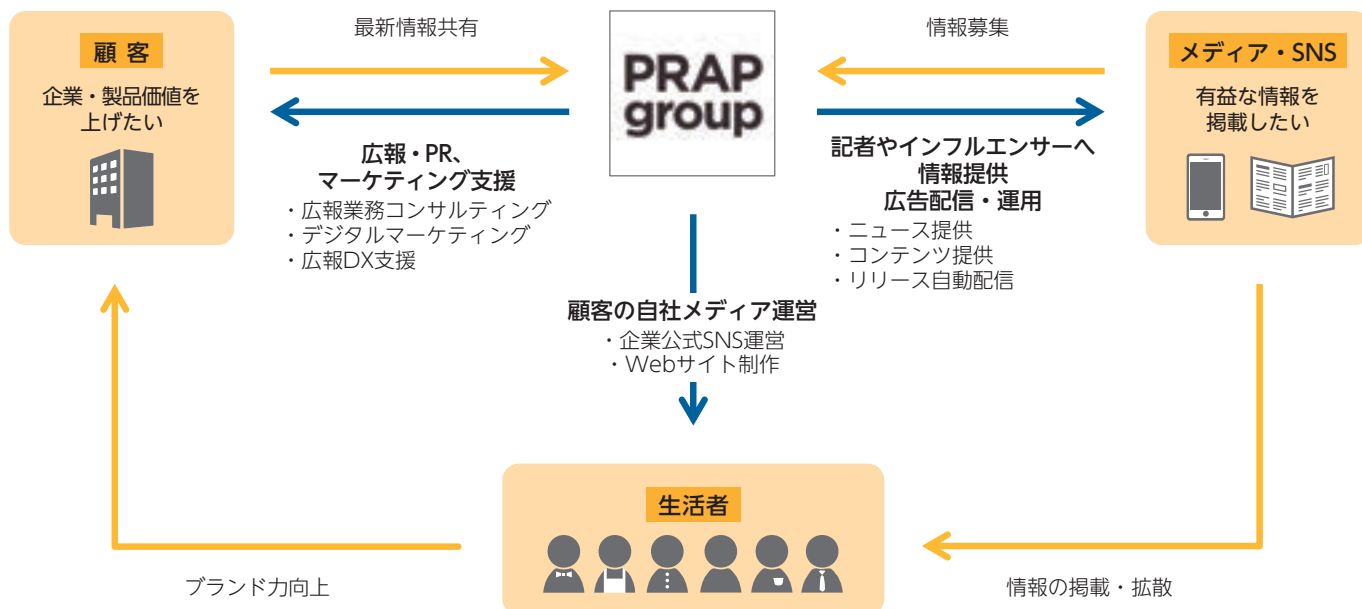
代表取締役社長 鈴木勇夫



事業内容

プラップグループは、PR発想のコミュニケーションコンサルティング・サービスを提供しています。創業以来これまで培ってきたPublic Relationsの知見を核に、コミュニケーション領域において事業の幅を広げています。

国内外の企業・団体を顧客とし、認知拡大・ファン獲得・ブランディングなどコミュニケーション上の課題を解決します。コミュニケーションサービスとデジタルサービスを統合し、今まで以上に幅広いサービス提供を推進。社会の多様化や顧客ニーズの変化に合わせ、お客様や社会の期待を超える新しい価値を生み出すことを目指しています。



サステナビリティへの取り組み

Build better relationships with the Next Generation

未来の社会との関係性を良好に

プラップグループは、企業の公正なコミュニケーション活動をコンサルティングすることで、企業をとりまくさまざまなステークホルダーとの関係性を良好にすることをミッションに掲げ、より円滑な経済活動の実現、ひいては社会発展に貢献しています。

“誰ひとり取り残さない”サステナブルな社会の実現にコミュニケーションの力で貢献し、プラップグループの持続可能な成長を目指します。

■ 地域と産業の持続的な発展に貢献

環境や社会のサステナビリティを追求する企業・自治体の取り組みをコミュニケーションの側面からコンサルティングすることで、持続可能な発展・成長に寄与します。

取り組み例

PRコンサルティング、地域ブランディング、サステナビリティPRサービス提供など



■ 公正で多様性のある社会の実現

誰にとっても公正なコミュニケーションを展開することによって、多様な個を尊重しお互いを受容する社会を促進します。

取り組み例

女性活躍、外国籍社員の採用、LGBTQ+に対するコミュニケーション支援など



■ インテグリティのある組織づくり

誰からも信頼されるコミュニケーションコンサルティング・グループとして、ガバナンス・コンプライアンスを強化し健全な経営を行います。

取り組み例

コンプライアンスの徹底、コーポレートガバナンスの充実および内部統制の整備など



マテリアリティ推進を支える取り組み

■ 「あしたの常識をつくる」人材育成

誠実で寛容な姿勢で社会と向き合い、真摯なコミュニケーションによって次世代につながる価値創造ができる人材を育成し、社会全体の公正なコミュニケーション環境構築に貢献します。

取り組み例 社員教育・各種研修、慶應義塾大学寄付講座、外部団体のPRアワード審査員など



TOPICS

1 提携パートナー開拓



医療従事者や患者向けの情報発信支援に強いメディコレ社や、中国市場でのEC事業展開を支援するVermillion社をはじめ、ヘルスケア／海外／IRといった専門領域における業界内外の複数企業と連携を進め、新たな価値創出に取り組ましました。

2 IRサービス体制強化



上場企業および上場を目指す企業に対するIR領域の戦略的広報を支援する専門チームを設立し、投資家との対話支援に強みを持つフィナンテック社と提携。コミュニケーションの観点から企業価値向上をサポートする体制を強化しました。

3 AI研究推進



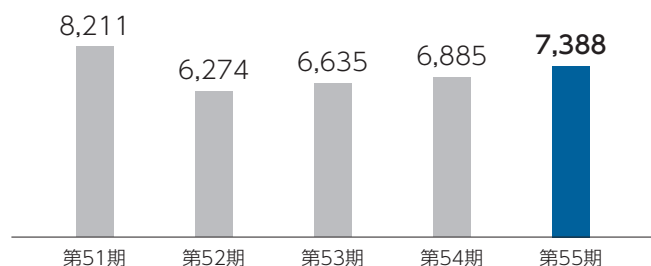
AWS Japanの生成AI実用化推進プログラムに参画し、既存事業の生産性向上を目的としたAI研究開発を推進しました。業務効率化によって提供サービスの付加価値向上を進め、長期的な成長を見据えた事業基盤の強化を進めています。

その他の動き

- ▶ フレックスタイム制を実現するとともに、新卒初任給を含めたベースアップなど採用力の強化に取り組ましました。社員への投資と会社の持続的成長を両立させるため、さらに実力や成果に応じたメリハリのある評価制度を導入しています。
- ▶ 「えるぼし」最高位（3つ星）やPRDE指標ゴールドに認定されるなど、誰もが自分らしく活躍できる環境づくりを推進しています。人的資本経営を通じて、企業価値の向上と持続的な組織成長を目指しています。
- ▶ プラップグループとしての包括的な情報をグループHPで提供しています。グループで提供している各種サービスやIR情報、サステナビリティに関する取り組みはこちらをご参照ください。<https://www.prapgroup.com/>

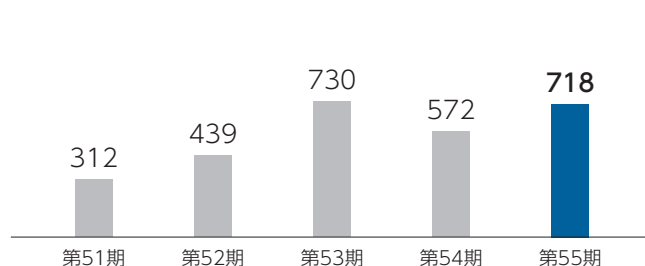
業績ハイライト

売上高 (百万円)

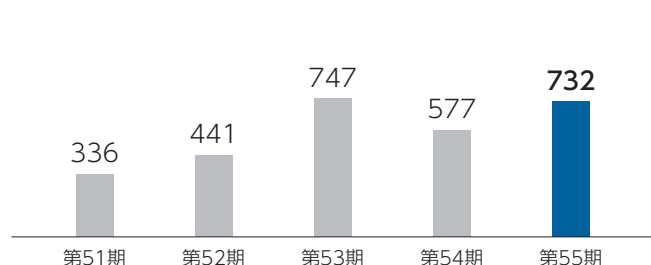


(※) 収益認識に関する会計基準（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を第52期連結会計年度の期首から適用しており、それ以前の連結会計年度と収益の会計処理が異なります。

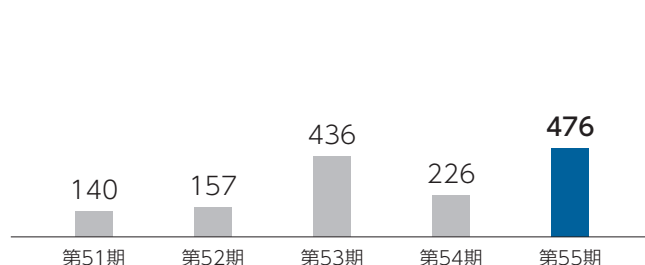
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



会社概要 (2025年8月31日現在)

会 社 名 株式会社プラップ ジャパン
PRAP Japan, Inc.

所 在 地 東京都港区赤坂9-7-2
ミッドタウン・イースト8階

代 表 者 鈴木 勇夫

設立年月日 1970年9月9日

資 本 金 4億7,078万円

従 業 員 数 378名（連結）
（注）上記従業員数は、臨時従業員36名は含んでおりません。

グループ体制

コミュニケーションサービス事業

プラップジャパン

総合PR・コミュニケーションコンサルティング支援

ブレインズ・カンパニー

総合PR・コミュニケーションコンサルティング支援

旭エージェンシー

海外顧客をメインにしたPRコンサルティング支援

プラップコンサルティング

危機管理広報・メディアトレーニングを専門に支援

トランスコネクト

PR・マーケティング業界をメインにした翻訳業務

※旭エージェンシーは、第56期よりブレインズ・カンパニーに吸収合併

デジタルソリューション事業

プラップノード

デジタル領域のソリューション開発・提供

プレジジョンマーケティング

デジタル広告／マーケティングのコンサルティング支援

海外事業

プラップチャイナ

中国エリアでの総合PR・マーケティング支援

ブレインズチャイナ

中国エリアでの総合PR・マーケティング支援

PRAP ASIA

シンガポールの子会社の経営管理を実施

PRAP POINTS Singapore

東南アジアエリアでのマーケティング支援

POINTS CREATIVE COMPANY

マーケティングやPR業務におけるデザイン・制作

ポインツジャパン

東南アジア向けアウトバウンドマーケティング支援

WILD ADVERTISING & MARKETING

SNSマーケティングなどのデジタルクリエイティブ支援

株式情報 (2025年8月31日現在)

発行可能株式総数 18,716,000株

発行済株式総数 4,679,010株

株主数 2,899名

大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
Cavendish Square Holding B.V.	935	21.08
矢島 婦美子	885	19.94
野村 しのぶ	394	8.88
矢島 さやか	367	8.28
鈴木 勇夫	141	3.18
上田八木短資株式会社	118	2.68
INTERACTIVE BROKERS LLC	78	1.76
関谷 幸平	62	1.40
小山 純子	59	1.35
プラップジャパン従業員持株会	52	1.18

（注）1. 当社は、自己株式240,078株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

2. 鈴木勇夫氏の所有株式数は役員持株会を通じて所有している持分を含めた実質所有株式数を記載しております。

3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 9月1日から翌年8月31日まで

定時株主総会 毎年11月

基準日 期末配当金 8月31日

株主名簿管理人

特 別 口 座 の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電 話 0120-232-711（通話料無料）
同 連 絡 先 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法 電子公告により、当社グループホームページ (<https://www.prapgroup.com/>) に掲載いたします。
ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

（ご注意）

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。